

令和5年度

市民満足度 調査結果

問 政策企画課☎内線1213

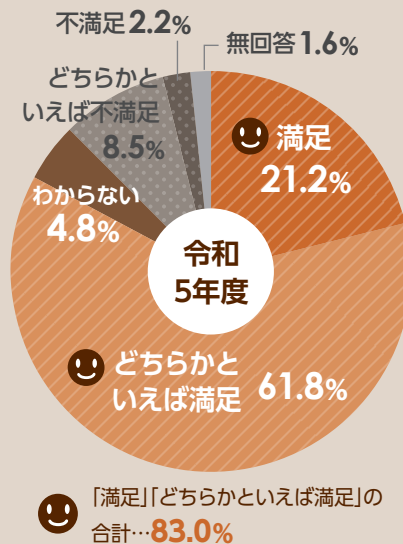
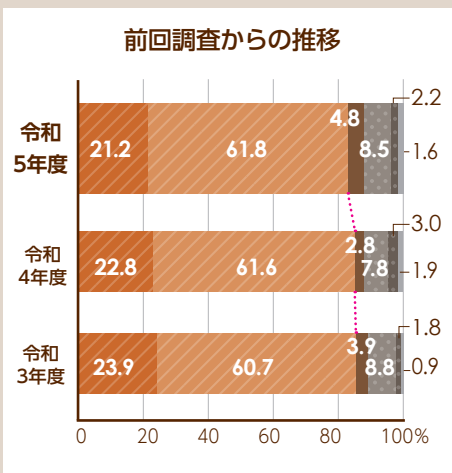
市では毎年、計画（予算）の策定、行政サービスの改善などに対して市民の皆さまの意見を反映させる仕組みとして、「市民満足度調査」を実施しています。

「市政全般における実感度」や「さらに充実してほしい施策」などについて、市民の皆さまがどのように感じているかを捉え、市政全般における市民満足度を把握するとともに、政策・施策別に今後重点を置いていかなければならない事項を整理し、その結果を今後の市政運営に活用します。

調査にご協力いただいた皆さまに心よりお礼を申し上げます。

市政全般における満足度について

※第4次総合計画の策定に伴う設問の見直しにより、令和2年度までの6段階評価を廃止し、令和3年度から新たに5段階評価の項目となっています。

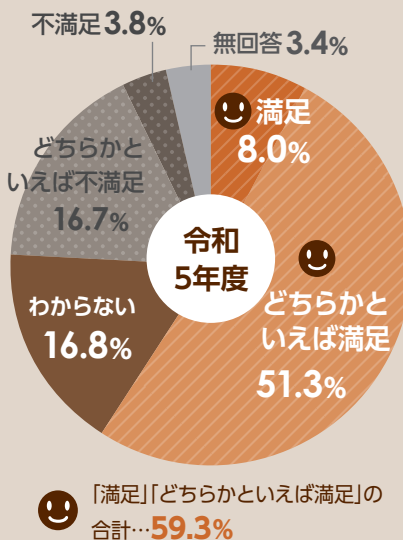
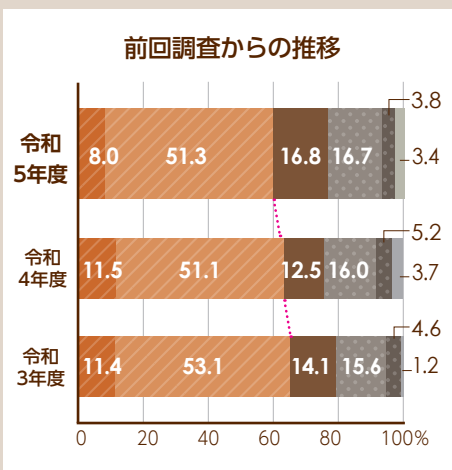


「満足」「どちらかといえば満足」の割合の合計が83.0%となり、設問を見直した令和3年度から3年連続で8割を超える市民の方が牛久市の住み心地に満足していることが分かりました。

Q 牛久市の住み心地は
いかがですか

8割を超える方が住み心地に満足している結果に

満足 どちらかといえば満足 わからない どちらかといえば不満足 不満足 無回答



「満足」「どちらかといえば満足」の割合の合計が59.3%となり、約6割の市民の方が牛久市の行政サービスに満足していることが分かりました。

約6割の方が行政サービスの質や内容に満足

Q 牛久市の行政サービスは
いかがですか

※小数点第2位以下を四捨五入して算出しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。

市民満足度調査結果の詳細は市ホームページで公開しています！



牛久 市民満足度調査

【調査期間】

令和6年2月15日～3月31日

【調査対象】

市内在住で16歳以上の方から無作為に抽出した3,000人

【回答件数】

1,193件 (回収率39.8%)

※郵送回答 852件、インターネット 回答341件

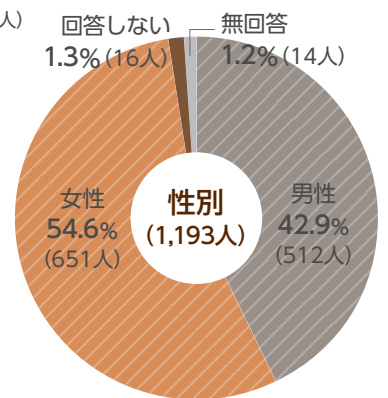
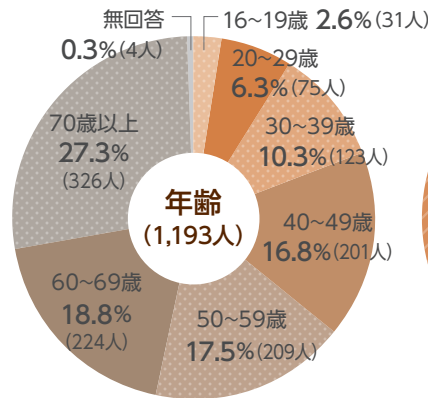
◎令和4年度回答件数

1,193件 (回収率39.8%)

◎令和3年度回答件数

1,214件 (回収率40.5%)

《調査概要》



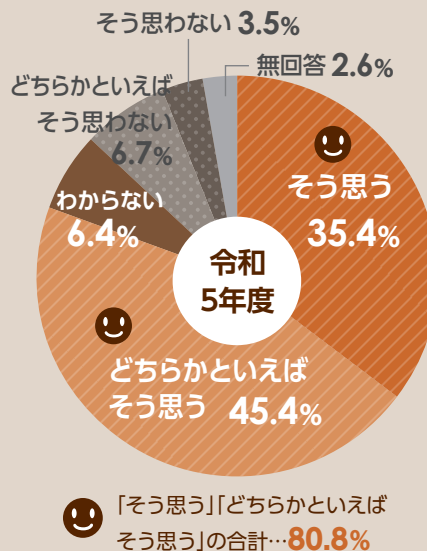
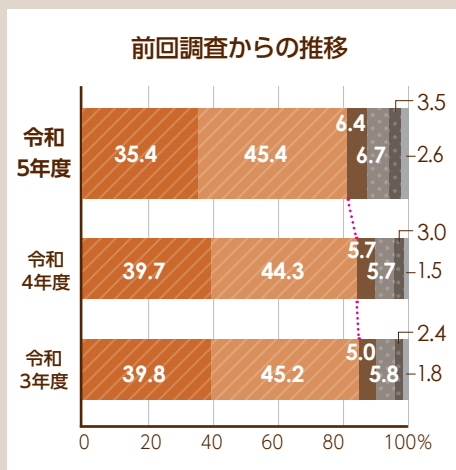
実感率の高い政策ベスト10 (政策数39)

順位	施策分類	施策	実感率
1	健康・医療	健康的な生涯が過ごせる地域をつくり、感染症から迅速に命を守る対応を行う	49.3%
2	生活インフラ	道路・下水道の計画的な整備やバリアフリー化による快適なまちづくりを行う	41.0%
3	景観・公園	歴史的建造物や豊かな自然資源を活かした景観づくりを行う	39.8%
4	地域福祉・地域医療	すべての人に健康・医療・福祉サービスが届くまちづくりを進める	38.9%
5	窓口サービス	市民の利便性を高め、適切な対応のできる窓口づくりを進める	37.5%
6	循環型社会	2050年までに温室効果ガスである二酸化炭素の実質排出量をゼロにし、循環型社会の構築を目指す。	36.5%
7	安全安心	情報発信による安心安全なまちづくりを進める	35.8%
8	自然環境	自然環境の保全に向けた取り組みを進める	35.5%
9	生涯学習	多様な人材が学び合い、高め合うことのできる地域づくりを進める	35.4%
10	文化芸術	文化芸術の持つ価値を活用し、豊かな心と本市への愛着、地域の魅力を高める	35.3%

多くの方が、「健康・医療」や「生活インフラ」に関する政策の効果を実感

各政策に対する実感率について、「実感する」「どちらかといえば実感する」と回答した方の割合を合計し、「実感率」として算出しました。「実感率」が高いほど、政策の効果や内容について多くの方が実感していることを表します。

牛久市への居住希望について



Q 今後も牛久市に住み続けたいと思いますか

5年度連続で8割を超える方が今後も牛久市に居住を希望「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計が80.8%となり、5年度連続で8割の方が今後も牛久市に居住を希望する結果となりました。

そう思う どちらかといえばそう思う わからない どちらかといえばそう思わない そう思わない 無回答